

「第2回 関東地方フォーラムイベント」開催

インフラメンテナンス国民会議

■開催概要

1. 概要：第1回関東地方フォーラムイベントでは「橋梁点検効率化に向けた課題整理」をテーマにグループ討議を行い、自治体のニーズを深堀しました。自治体のニーズで特に多かったものの中から、次のテーマについて、解決できるシーズ(技術)を募集し、ピッチイベントを開催しました。

【自治体ニーズ】

- ・ 交通規制の負担を減らす技術
- ・ 不可視部分の点検を容易にできる技術

2. 日時：平成31年2月18日(月) 14:00～17:00

3. 場所：関東地方整備局 さいたま新都心合同庁舎2号館

4. 内容：1) 挨拶

2) 特別講演 首都大学東京 村越潤教授

技術者育成と技術開発の重要性

一橋梁の維持管理の信頼性向上、効率化に向けてー

3) ピッチイベント

4) 個別相談(各社ブースを設置)

5. 参加者：自治体20団体30名(今回は自治体限定)、発表者：10団体

6. 開催結果

- ・ ピッチイベントでは、各社のプレゼンを自治体職員が熱心に聞いてました。
 - ・ 個別相談では、発表者がブースを設置することにより、プレゼンだけでは伝えられない情報を伝えることができました。
- 又、自治体も興味がある技術は、より深く確認することができました。



石原関東地方整備局長の挨拶

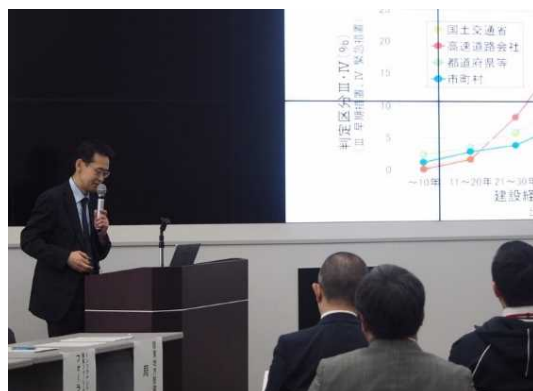
ピッチイベント

【シーズの提案】

- ①アウトリガーを張出さない高効率の橋梁点検車
- ②1台2役(橋桁下面と橋脚)のゴンドラ車
- ③ロープ・ランヤードを用い近接し、点検・調査・補修を行う技術
- ④ワイヤ吊り下げ型橋梁点検ロボット
- ⑤斜張橋ケーブル点検ロボット
- ⑥磁気ストリーム法によるPC橋の内部鋼材破断を検知する非破壊検査
- ⑦老朽化する道路橋コンクリート床版の非破壊調査技術
- ⑧近赤外分光技術によるインフラ構造物劣化イメージングシステム
- ⑨Mobile Mapping Systemを活用したRC床版土砂化箇所の推定
- ⑩低コストで社会インフラの異常を監視し、遠隔で確認可能なIoTサービス



展示物



特別講演 村越教授



会場の様子



ピッチイベント



個別相談(ブース)の様子